

ルートは推測

尾根に出たところで携帯が繋がった

単独行、計画書はパソコンの中。頂上からの下山で方向違いの尾根に進み、そのまま沢まで下山。道迷いに気づき、下山した道を上り返し、尾根に出たところ携帯が繋がり、4日後に無事ヘリコプターで救助された。

至：登山口





山頂からの下山で、まったく違った方角へ進み道迷いするケースはあります。この事例は、

- ①山頂からの下山で、コンパスを使って下山方向を確かめなかった。
- ②自分の進んでいる方向は間違っていない。もし、間違っていたとしてもトラバースルートがあるはずだ！という思い込みがあった。
- ③尾根ではなく、沢の音が聞こえたので、途中で沢へ下って行き、沢の水量が多くなったため、初めてコンパスを出し進んでいる方向が違うことを知り呆然とした。

というものでした。生還した要因は、

- ①沢を下るのを諦め尾根を目指して登り返した。
- ②尾根に出たところ携帯電話がつながった。
- ③防寒着と食料を少ないながらも持っていた。

だと思います。